



# すずしろ 22 2022 4 月報

すずしろは大根 それは大地の豊かな恵の象徴 22 世紀につなげる農のあり方を 共に考える会

## 援農状況 2022 年 3 月の援農集計

	援農時間 (h)	参加人数 (人)	参加延人数 (人)	農家数 (軒)	累計援農時間 (h)
2022 年 3 月	1,550	55	426	21	4,349
2021 年 3 月	1,491	50	411	18	4,132
増減	+59	+5	+15	+3	+217

寒暖差の激しい 3 月でしたが、援農は順調でした。にんじん、長ネギ、キャベツ、ホウレン草などの収穫と出荷、じゃが芋の植え付けなどの作業がありました。4 月に入り、暑い日が続くようになってきました。「事務局からのお知らせ」に『日焼けと熱中症に注意』を掲載しております。よくお読みの上、援農に参加をお願いします。春の全国交通安全運動は終わりましたが、真新しいランドセルを背負った子供たちが目につくこの頃です。援農の行き帰り、より一層の安全運転をお願いします。(援農サポータ 北尾)



## 理事会報告 4 月度理事会

(4/21(木) 17:30~20:30 大横保健福祉センターにて。7 名出席)

- ① 農家会員所有車輛を援農者が利用(運転・同乗)する件について。
- ② 地産地消イベント計画：料理教室は、今年度は行わない。  
8/5~7 に番場農園でブルーベリー収穫イベントを開催の予定。
- ③ 小比企地区の農園の水路末端部分 60m は U 字溝がなく、崩落しやすいため、3/24 に八王子市水資源整備課へ水路の改修を要望しところ、検討するとの前向きな回答を得た。



## 安全 PR

### 「日焼けと熱中症に注意」

この所、日差しが強くなり、25 度を超える夏日も観測されるようになってきました。この季節の援農は日焼けに要注意です。そして、意外にも熱中症にも注意が必要です。夏前のこの季節は、体がまだ暑熱順化(\*)できていないために、発汗が少なく、また皮膚の血液量が増えにくいため熱放散による体温調整ができず、そのため、体に熱がこもり、熱中症になりやすい状態にあります。夏日が増えてくるこれからの援農は、帽子着用などの日焼け予防の他、こまめな休養、水分・塩分の補給等で熱中症にも注意していきましょう。

\*暑熱順化：体が暑さに慣れること。日常生活の中で運動や入浴することで体が暑さに慣れて、暑さに強くなります。暑熱順化ができて、数日、暑さから遠ざかると、暑熱順化の効果は無くなってしまいます。(北尾)



## 事務局より

- ① 入会農家さんのご紹介 ・堀之内の神田孝司さん(キテレッツファーム 11 月入会) ・小比企町の峯尾輝夫さん(4 月入会)。援農参加にご協力をお願いします。
- ② 援農者が農家所有車輛を運転・同乗する場合は、援農者の同意のもと、農家会員の責任・管理下で行ってください。農家さん加入の保険での対応をお願いします。
- ③ 小比企町に 9ヶ所目となる市民農園「ひまわり農園Ⅱ」を 5 月中旬に開設の予定。1 区画 50 m<sup>2</sup> (利用料 17,000 円) で 11 区画。利用者を募集します。  
(問い合わせ先) 合津 080-1351-4860 清水 080-3347-6491
- ④ すずしろ 22 の会員から、以下の農園管理者を募集します。  
久保山農園 6,000 円/月、富所&新富所 5,000 円/月、  
コスモス&たんぼぼ 5,500 円/月。詳細は清水(080-3347-6491)迄



## 援農体験記

### すずしろさんでの経験を活かしてサラリーマンから農家へ挑戦

長野県 森 貴弘

祖母の紹介ですずしろさんのお世話になったのは、昨年12月のことです。元々は不動産の賃貸営業をしていた私ですが、それまでは自分の人生において「農業」というものと関わりあう機会はなく、農家を目指すことになるなど夢にも思っていませんでした。そんな私が農業を志すきっかけになったのは、前職のインフラ会社の知人の勧めがあったためです。実際に長野県で就農をされている方で、年に数回遊びに伺ううちに、東京にはない魅力的な環境と自然相手の刺激的な毎日の虜になっていきました。今までサラリーマンとして生きてきた私にとって、それは目から鱗が落ちるような体験でした。

その後就職した不動産会社を昨年12月25日に退職し、それと入れ替わりで農家さんへのお手伝いを始めました。先述した祖母が援農をしていたこともあり、そのご縁ですずしろさんのお世話になることにしました。期間は2ヵ月余りと大変短くではありましたが、石川農園さんやキテレツファームさん、そして援農で一緒させていただいた皆さん、知識も経験もまるでない私に親身に教えてくださいました。この場をお借りして御礼申し上げます。



移住先の長野県は生まれも育ちも八王子の私には慣れない土地です。冬は寒く、知り合いも少なく、不安がないといえは嘘になりますが、援農先の皆さんから教わった知識や経験を今後活かしていくべく努力をする毎日です。現在は長野県小諸市にある県立の農業大学校に4月から入学し、併設された寮での生活を送りながら2年後の独立就農に向けて日々座学と実技面での学習をしています。今年度の学生は私を含めて4人と、教職員より少ないですが、年齢は20代から50代と幅広く、学生同士活発に情報の交換を行い切磋琢磨しております。授業の内容は、耕耘機から基礎的な鍬の使い方、育苗ハウスの解体・建設・管理、メーカー主催のドローンや無人田植機を用いた最新のスマート農業の説明、トラクターなどの大型特殊免許の取得、実践的な経営に向けた計画の作成など学ぶべきことが非常に多く、苦戦の連続です。



将来的には長野県東御市にある田沢という地区で就農をする予定です。首都圏からの移住者も多く、引退世代の方々がワインを醸造していたり、近くに温泉や宿泊施設、バーベキュー場やテニスコートもあつたりと非常に住みやすい土地です。私自身はキュウリやブロッコリーなどの果菜類を主に栽培していく予定ですが、生活が落ち着くまではしばらく時間がかかると思います。すずしろ22の皆様やお世話になった農家の皆様に胸を張って農業で生活できているとご報告ができるその日まで、お待ちいただければ幸いです。



## 野草あれこれ オオイヌノフグリ (大犬の陰囊)

オオバコ科クワガタソウ属

ヨーロッパ原産、明治時代に渡来した帰化植物。越年草。全体にまばらに毛が生えている。茎は地面を這うが、先端部のみが起き上がり、葉腋に青紫色の花を1つ開く。花柄が長いので花はすべて葉の上で咲くため、花が目立つ。先端がへこんだ倒心臓系の果実の形を犬の陰囊に見立てたのが名前の由来。アリが好む甘い物質、エライオソームがタネについている。属名のペロニカは、キリストが十字架を背負って歩いたとき、ハンカチで汗を拭いてあげた女性の名。来のおオイヌノフグリはピンク色の小さな花をつけるが、絶滅危惧種となっている。



## タチイヌノフグリ(立ち犬の陰囊)

オオバコ科クワガタソウ属

ヨーロッパ、アジア、アフリカ原産。オオイヌノフグリと同じころ渡来した帰化植物。越年草。茎は根本で分枝して立ち上がる。花は葉の間で咲き、花柄がないためあまり目立たない。全体に白い軟毛がある。ほかに、ヨーロッパ原産のフラサバソウ(別名ツタバイヌノフグリ)がある。フラサバソウは全体に毛が多く、光沢のある葉がツタの葉に似ている。

